

アムンディ・欧州ハイ・イールド債券ファンド (資源国通貨コース)

追加型投信／海外／債券

第19 作成期

第106期 (決算日 2019年11月8日)

第107期 (決算日 2019年12月9日)

第108期 (決算日 2020年1月8日)

第109期 (決算日 2020年2月10日)

第110期 (決算日 2020年3月9日)

第111期 (決算日 2020年4月8日)

作成対象期間 (2019年10月9日～2020年4月8日)

第111期末 (2020年4月8日)	
基準価額	2,812円
純資産総額	703百万円
第106期～第111期	
騰落率	△23.2%
分配金 (税込み) 合計	240円

(注) 騰落率は分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

●受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

当ファンドはこの度、上記の決算を行いました。

当ファンドは、欧州のハイイールド債を主要投資対象とするユーロ売り／資源国通貨(ブラジルリアル、豪ドル、南アフリカランド) 買いの為替取引を行う、「ストラクチャル-欧州ハイ・イールド・ボンド-ブラジルリアル (I4シェアクラス、円)」「ストラクチャル-欧州ハイ・イールド・ボンド (IH3シェアクラス、豪ドル)」「ストラクチャル-欧州ハイ・イールド・ボンド (IH7シェアクラス、南アフリカランド)」を主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な投資信託財産の成長を目指して運用を行います。なお、「CAマネープールファンド (適格機関投資家専用)」への投資も行います。当作成対象期間につきましてもそれに沿った運用を行いました。

ここに運用状況についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。

【閲覧方法】

右記<お問い合わせ先>に記載されているホームページアドレスにアクセス⇒「ファンド情報」メニューから「ファンド・基準価額一覧」(当ファンドが償還した場合は「償還ファンド一覧」)をクリック⇒当該一覧から当ファンドのファンド名称をクリック⇒運用報告書(全体版)をクリック

※ホームページ掲載日より5年間は閲覧いただけます。

- 運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

アムンディ・ジャパン株式会社

〒100-0011 東京都千代田区千代田1丁目2番2号

<お問い合わせ先>

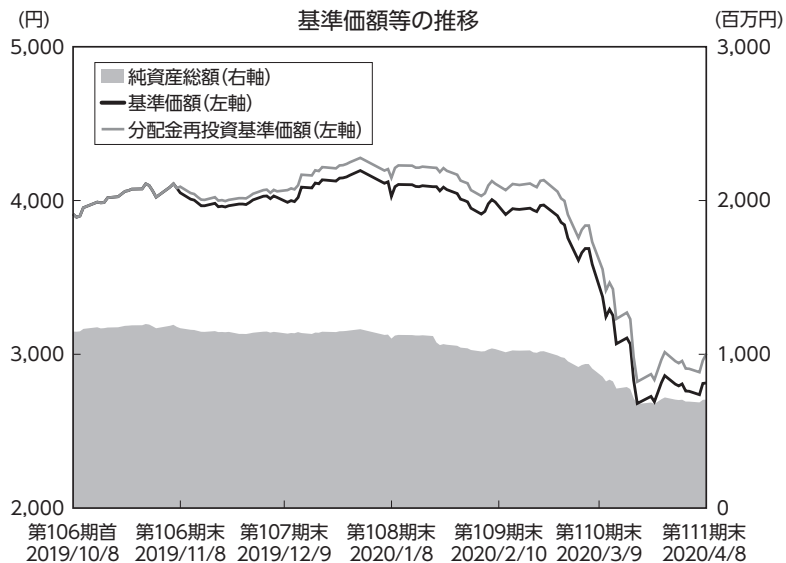
お客様サポートライン 0120-202-900 (フリーダイヤル)
受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで
ホームページアドレス: <https://www.amundi.co.jp/>

運用経過

基準価額等の推移

第106期首	3,911円
第111期末	2,812円
既払分配金 (税込み)	240円
騰落率	△23.2% (分配金再投資ベース)

当ファンドは運用成果の目標基準となるベンチマークを設けておりません。また、当ファンドと適切に対比できる参考指数はありません。



- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2019年10月8日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

基準価額の主な変動要因

下落要因

- ① 当作成期初から年末にかけて米中貿易交渉の合意への期待で国債利回りが上昇（債券価格は下落）したこと
- ② 2020年1月後半に新型コロナウイルスの感染拡大によるリスク回避の動きで欧州ハイイールド債のクレジット・スプレッド（国債との利回り格差）が拡大したこと
- ③ 2月最終週から3月前半にかけて、新型コロナウイルスの感染拡大とサウジアラビアとロシアが引き金となった原油価格の急落が相まって、リスク回避の動きで欧州ハイイールド債のクレジット・スプレッドが大きく拡大したこと
- ④ 為替市場において、当作成期は資源国通貨安・円高となったこと

上昇要因

- ① 低成長・低インフレ環境やECB（欧州中央銀行）の社債買入れの再開などを背景に、投資家の利回りを求める動きが継続し、2月半ばまで欧州ハイイールド債のクレジット・スプレッドの縮小が続いたこと
- ② 2月最終週から3月前半にかけて、新型コロナウイルスの感染拡大と原油価格の急落を背景に国債利回りが大きく低下（債券価格は上昇）したこと
- ③ ユーロ売り／資源国通貨買いの為替取引により、プレミアム（金利差相当分の収益）を得たこと
- ④ 欧州ハイイールド債から利息収入を得たこと

1万口当たりの費用明細

項 目	第106期～第111期 (2019年10月9日 ～2020年4月8日)		項 目 の 概 要
	金額	比率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	21円 (6) (15) (1)	0.555% (0.154) (0.385) (0.016)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 (監 査 費 用) (印 刷 費 用) (そ の 他)	1 (0) (1) (0)	0.036 (0.005) (0.031) (0.000)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ファンドの法定開示資料の印刷に係る費用 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	22	0.591	
期中の平均基準価額は3,793円です。			

(注1) 費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

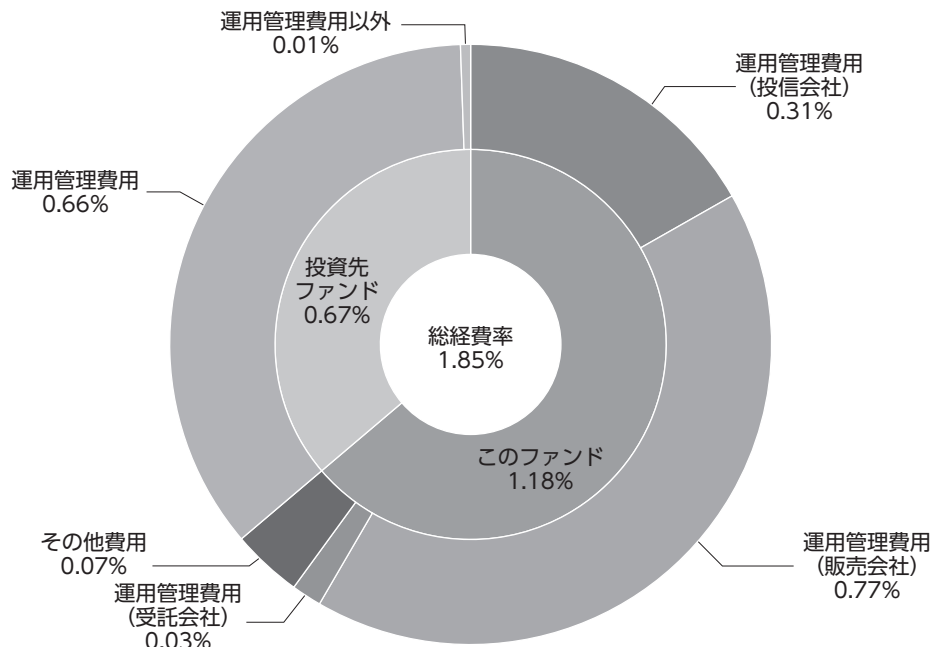
(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

● 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.85%です。



総経費率 (①+②+③)	1.85%
①このファンドの費用の比率	1.18%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.66%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.01%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

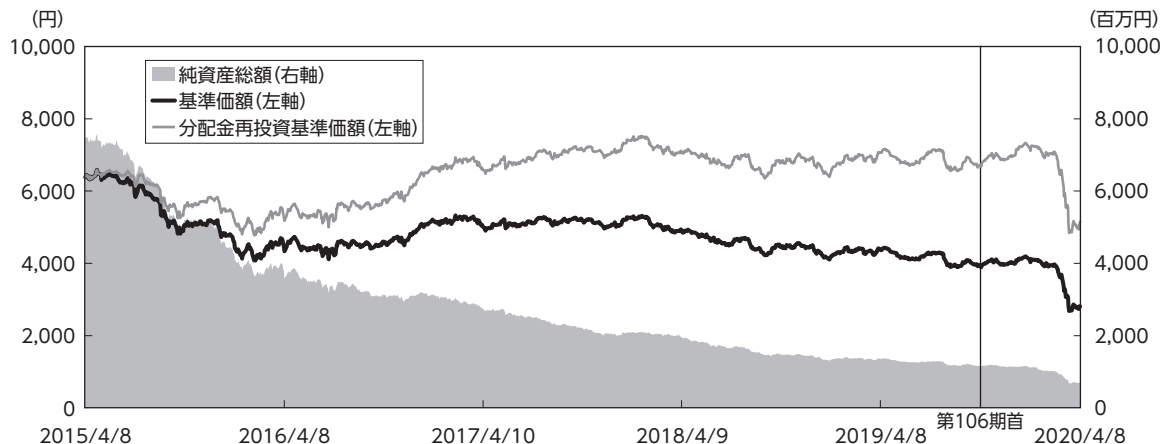
(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。

(注5) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注6) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2015年4月8日～2020年4月8日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2015年4月8日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

最近5年間の年間騰落率

	2015/4/8 期首	2016/4/8 決算日	2017/4/10 決算日	2018/4/9 決算日	2019/4/8 決算日	2020/4/8 決算日
基準価額(円)	6,380	4,333	4,969	4,854	4,367	2,812
期間分配金合計(税込み)(円)	—	940	480	480	480	480
分配金再投資基準価額騰落率(%)	—	-18.9	26.9	7.3	0.2	-27.1
純資産総額(百万円)	7,433	3,580	2,702	1,935	1,354	703

(注) 運用成果の目標基準となるベンチマークおよび運用方針に対し適切に比較できる参考指数はありません。

投資環境

〈欧州ハイイールド債券市場〉

2019年の第4四半期は米中貿易交渉の合意や英国のEU（欧州連合）離脱という明るい政治動向を背景に市場センチメントが改善し、欧州ハイイールド債のクレジット・スプレッドは縮小しました。しかし、今年のはじめには、新型コロナウイルスの感染拡大をきっかけに、市場は1月末に最初の下落に見舞われました。2月末以降、新型コロナウイルスの感染拡大が進み、各国で厳しい抑制措置が世界中でとられ、リスク回避の動きでクレジット・スプレッドは大幅に拡大、国債利回りは大幅に低下しました。3月前半の市場の混乱を受け、欧米諸国の中央銀行と政府が対策に踏み切り、過去最大規模のQE（量的緩和）や財政措置を発表しました。金融面では、利下げ、巨額の資産購入プログラム（特に社債）、大量の資金供給、財政面では、企業・家計支援、刺激策などが打ち出されました。これらの措置のスピードや重要性は市場に安心感を与え、3月最終週にはクレジット・スプレッドの拡大に歯止めがかかり、縮小に転じました。一方で国債利回りは安心感から上昇しました。当作成期初対比では国債利回りは幅広い、クレジット・スプレッドは大幅に拡大しました。

〈為替市場〉

当作成期、資源国通貨（ブラジルレアル、豪ドル、南アフリカランド）の対円相場は、それぞれブラジルレアル26円台、豪ドル72円台、南アフリカランド7円台前半で始まりました。当作成期前半、一時下落する場面があったものの、米国が対中追加関税の発動を見送ったことが好感されたことや銅や鉄鉱石相場も底堅く推移したことなどから、各通貨ともおおむね堅調な動きとなりました。2020年1月に入ると、中国での新型コロナウイルスの感染拡大と経済活動の低迷で、商品市況全般が軟調になると、新興国通貨も下落傾向となりました。その後、欧米でも新型コロナウイルスの感染が急拡大し、世界的な景気先行き不安から市場のリスク回避志向が強まったことや、3月に入り原油相場が急落したことも下落に拍車をかけ、ブラジルレアル20円台、豪ドル66円台、南アフリカランド5円台後半で当作成期末を迎えました。

〈日本の短期国債市場〉

当作成期の短期国債市場では、日銀によるマイナス金利政策のもと、TDB（国庫短期証券）3ヵ月物の利回りは-0.36%前後の水準で始まりました。その後、利回りは上昇しましたが、3月に入ると新型コロナウイルス感染拡大の影響や海外勢の買い需要を受けて、利回りは大幅に低下しました。当作成期末にかけては、海外勢の買い需要が一旦収まり、利回りは再び上昇に転じ、-0.16%前後の水準で期末を迎えました。

ポートフォリオ (当ファンド)

当ファンドは、主として欧州のハイイールド債に投資しユーロの為替リスクをブラジルレアル、豪ドルおよび南アフリカランドの各為替リスクに変換した各投資信託証券（「ストラクチャラ－欧州ハイ・イールド・ボンド－ブラジルレアル（I 4シェアクラス、円）」、「ストラクチャラ－欧州ハイ・イールド・ボンド（I H 3シェアクラス、豪ドル）」および「ストラクチャラ－欧州ハイ・イールド・ボンド（I H 7シェアクラス、南アフリカランド）」）を主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な投資信託財産の成長を目指して運用を行いました。また、当該3つのシェアクラスに均等に投資し、合計投資比率を高位に維持しました。なお、円建の国内籍投資信託「C A マネープールファンド（適格機関投資家専用）」にも投資を行いました。

(アムンディ・ジャパン株式会社)

〈ストラクチャラ－欧州ハイ・イールド・ボンド（I H 3シェアクラス、豪ドル）〉※1 〈ストラクチャラ－欧州ハイ・イールド・ボンド（I H 7シェアクラス、南アフリカランド）〉※1 〈ストラクチャラ－欧州ハイ・イールド・ボンド－ブラジルレアル（I 4シェアクラス、円）〉※2

当ファンドは、ポートフォリオの分散化および脆弱な銘柄の回避を念頭に置いており、特に足元のような困難な時期には適切な手法と考えています。当ファンドは投資対象の中で最も流動性の高い銘柄をオーバーウェイトし、ディストレスト銘柄（発行企業の財務状況や信用力の悪化により著しく価格が低下した債券）をアンダーウェイトとしました。後者は、純粋に回収率の分析など法律的な観点や調達手段の確保の状況など、より個別に深い分析を行う必要があります。2月下旬以降、当ファンドでは市場の流動性が許す限り、レジャー、輸送などの新型コロナウイルスの影響が大きいセクターへのエクスポージャーを大幅に削減しました。

「ストラクチャラ－欧州ハイ・イールド・ボンド－ブラジルレアル」につきましても、「ストラクチャラ－欧州ハイ・イールド・ボンド」と同様の運用を行いました。

(アムンディ・アセットマネジメント)

実質的なユーロ建資産に対し、ユーロ売り／資源国通貨（ブラジルレアル、豪ドルおよび南アフリカランドを均等に配分）買いの為替取引を行い、当作成期を通じて資源国通貨のエクスポージャーをおおむね100%に維持しました。

(アムンディ・ジャパン株式会社)

※1 「ストラクチャラ－欧州ハイ・イールド・ボンド（I H 3シェアクラス、豪ドル）」および「ストラクチャラ－欧州ハイ・イールド・ボンド（I H 7シェアクラス、南アフリカランド）」は、「ストラクチャラ－欧州ハイ・イールド・ボンド」にて他のクラスと合同運用が行われています。上記の欧州ハイイールド債の運用については「ストラクチャラ－欧州ハイ・イールド・ボンド」の内容を記載しております。

※2 「ストラクチャラ－欧州ハイ・イールド・ボンド－ブラジルレアル（I 4シェアクラス、円）」は、「ストラクチャラ－欧州ハイ・イールド・ボンド－ブラジルレアル」にて運用が行われています。為替取引も「ストラクチャラ－欧州ハイ・イールド・ボンド－ブラジルレアル」にて行われています。

〈CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）〉

当作成期、主として12ヵ月以内に償還を迎える地方債への投資により、安定した収益の確保を目指して運用を行いました。

(アムンディ・ジャパン株式会社)

ベンチマークとの差異

当ファンドは運用成果の目標基準となるベンチマークを設けておりません。また、当ファンドと適切に対比できる参考指数はありません。

分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案した結果、以下のとおり分配を行いました。なお、収益分配に充てず、信託財産内に留保した収益については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(単位：円・1万口当たり・税込み)

項目	第106期	第107期	第108期	第109期	第110期	第111期
	(2019年10月9日 ~2019年11月8日)	(2019年11月9日 ~2019年12月9日)	(2019年12月10日 ~2020年1月8日)	(2020年1月9日 ~2020年2月10日)	(2020年2月11日 ~2020年3月9日)	(2020年3月10日 ~2020年4月8日)
当期分配金	40	40	40	40	40	40
(対基準価額比率)	(0.978%)	(0.993%)	(0.984%)	(1.013%)	(1.172%)	(1.403%)
当期の収益	40	40	40	40	40	40
当期の収益以外	-	-	-	-	-	-
翌期繰越分配対象額	1,603	1,614	1,628	1,640	1,651	1,662

- ・「対基準価額比率」は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。
- ・「当期の収益」「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

今後の運用方針

〈当ファンド〉

引き続き「ストラクチャラー欧州ハイ・イールド・ボンドーブラジルリアル（I 4シェアクラス、円）」、「ストラクチャラー欧州ハイ・イールド・ボンド（IH3シェアクラス、豪ドル）」および「ストラクチャラー欧州ハイ・イールド・ボンド（IH7シェアクラス、南アフリカランド）」の3つのシェアクラスに均等に投資し、合計の投資比率を高位に保ちます。なお、「CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）」への投資も行います。

(アムンディ・ジャパン株式会社)

〈ストラクチャラー欧州ハイ・イールド・ボンド（IH3シェアクラス、豪ドル）〉 〈ストラクチャラー欧州ハイ・イールド・ボンド（IH7シェアクラス、南アフリカランド）〉 〈ストラクチャラー欧州ハイ・イールド・ボンドーブラジルリアル（I 4シェアクラス、円）〉

疫病の世界的な大流行は深刻ではあるものの、性質上一時的な現象であり、その状況が過ぎ去った後の景気回復を予想することは理に適っています。よって、当ファンドでは、今回の危機の影響を受けやすい発行体と影響が相対的に少ない発行体を区別することに重点を置いています。また、引き続き分散の効いたポートフォリオを維持すると同時に一定の流動性を選好します。コロナ危機は金融環境の引き締めを通じ、ハイイールド債の発行体にマイナスの影響をおよぼすとみられますが、当ファンドは大規模な金融・財政刺激策によって市場は安定すると予想しています。とはいえ、こうした不透明な環境では、銘柄選択とファンダメンタルズ（基礎的条件）を掘り下げた分析がこの先も極めて重要になると考えています。

(アムンディ・アセットマネジメント)

引き続き実質的なユーロ建資産に対し、ユーロ売り／資源国通貨（ブラジルリアル、豪ドルおよび南アフリカランドを均等に配分）買いの為替取引を継続いたします。

(アムンディ・ジャパン株式会社)

〈CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）〉

安全性重視の観点から、12ヵ月以内に償還を迎える債券への投資により安定的な運用を行います。

(アムンディ・ジャパン株式会社)

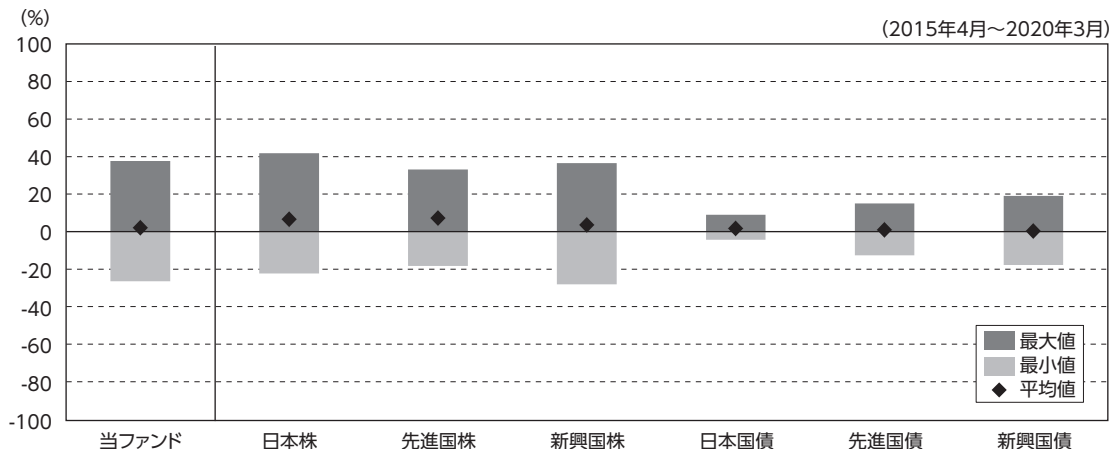
お知らせ

2020年1月9日付で当該証券投資信託の信託期間を延長したことに伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。

ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2011年1月31日から2026年4月8日までです。	
運用方針	欧州のハイイールド債を主要投資対象とするユーロ売り／資源国通貨（ブラジルリアル、豪ドル、南アフリカランド）買いの為替取引を行う、「ストラクチュラ-欧州ハイ・イールド・ボンド-ブラジルリアル（I4シェアクラス、円）」「ストラクチュラ-欧州ハイ・イールド・ボンド（IH3シェアクラス、豪ドル）」「ストラクチュラ-欧州ハイ・イールド・ボンド（IH7シェアクラス、南アフリカランド）」を主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な投資信託財産の成長を目指して運用を行います。なお、「CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）」への投資も行います。	
主要投資対象	アムンディ・欧州ハイ・イールド債券ファンド(資源国通貨コース)	ストラクチュラ-欧州ハイ・イールド・ボンド-ブラジルリアル(I4シェアクラス、円)、ストラクチュラ-欧州ハイ・イールド・ボンド（IH3シェアクラス、豪ドル）、ストラクチュラ-欧州ハイ・イールド・ボンド（IH7シェアクラス、南アフリカランド） CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）
	ストラクチュラ-欧州ハイ・イールド・ボンド-ブラジルリアル（I4シェアクラス、円）、ストラクチュラ-欧州ハイ・イールド・ボンド（IH3シェアクラス、豪ドル）、ストラクチュラ-欧州ハイ・イールド・ボンド（IH7シェアクラス、南アフリカランド）	欧州のハイイールド債
	CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）	本邦通貨表示の短期公社債
運用方法	① 欧州のハイイールド債を主要投資対象とするユーロ売り／資源国通貨買いの為替取引を行う、「ストラクチュラ-欧州ハイ・イールド・ボンド-ブラジルリアル（I4シェアクラス、円）」「ストラクチュラ-欧州ハイ・イールド・ボンド（IH3シェアクラス、豪ドル）」「ストラクチュラ-欧州ハイ・イールド・ボンド（IH7シェアクラス、南アフリカランド）」を主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 ② 「ストラクチュラ-欧州ハイ・イールド・ボンド-ブラジルリアル（I4シェアクラス、円）」「ストラクチュラ-欧州ハイ・イールド・ボンド（IH3シェアクラス、豪ドル）」「ストラクチュラ-欧州ハイ・イールド・ボンド（IH7シェアクラス、南アフリカランド）」への投資比率は、原則として投資信託財産の純資産総額の90%以上とすることを基本とします。	
分配方針	毎決算時（年12回、原則毎月8日。休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。分配金額は、委託者が基準価額水準および市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。	

当ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



当ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率

(%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	2.3	6.8	7.4	3.9	2.0	1.2	0.6
最大値	37.8	41.9	33.3	36.7	9.3	15.3	19.3
最小値	-26.0	-22.0	-18.0	-27.7	-4.0	-12.3	-17.4

(注1) 上記は、当ファンドと他の代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

(注2) 上記は、2015年4月から2020年3月の5年間の各月末における直近1年間騰落率の平均値・最大値・最小値を、当ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス (税引後配当込み、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (税引後配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。

- ・ 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・ 当ファンドは、分配金 (税込み) が分配時に再投資されたものとみなして計算した年間騰落率に基づき計算されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。
- ・ 騰落率は直近月末から遡って算出した結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容 組入ファンド

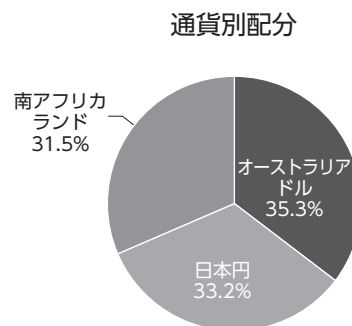
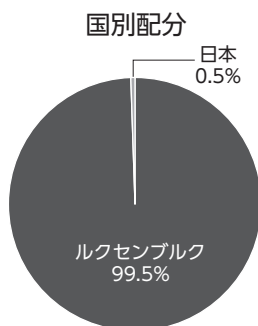
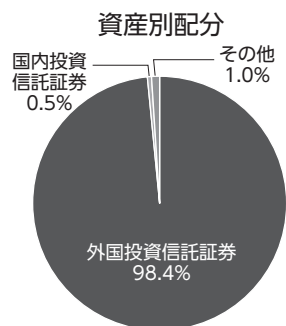
2020年4月8日現在
(組入銘柄数：4銘柄)

	銘柄	通貨	比率
1	ストラクチュラ-欧州ハイ・イールド・ボンド (IH 3シェアクラス、豪ドル)	オーストラリアドル	35.0%
2	ストラクチュラ-欧州ハイ・イールド・ボンド-ブラジルリアル (I 4シェアクラス、円)	日本円	32.3%
3	ストラクチュラ-欧州ハイ・イールド・ボンド (IH 7シェアクラス、南アフリカランド)	南アフリカランド	31.1%
4	CAマネープールファンド (適格機関投資家専用)	日本円	0.5%

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書 (全体版) に記載されております。

種別構成



(注1) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分および通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注3) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入しております。

純資産等

項目	第106期末 2019年11月8日	第107期末 2019年12月9日	第108期末 2020年1月8日	第109期末 2020年2月10日	第110期末 2020年3月9日	第111期末 2020年4月8日
純資産総額	1,168,943,877円	1,133,633,041円	1,101,391,485円	1,012,479,732円	853,542,239円	703,829,528円
受益権総口数	2,886,379,791口	2,842,605,552口	2,736,008,037口	2,590,037,191口	2,530,079,121口	2,503,110,042口
1万円当たり基準価額	4,050円	3,988円	4,026円	3,909円	3,374円	2,812円

※当作成期間 (第106期～第111期) 中における追加設定元本額は48,633,045円、同解約元本額は479,166,448円です。

組入ファンドの概要

<ストラクチュラ-欧州ハイ・イールド・ボンド>

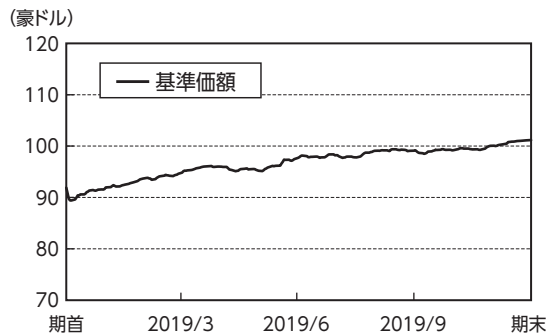
決算日：2019年12月31日

(計算期間：2019年1月1日～2019年12月31日)

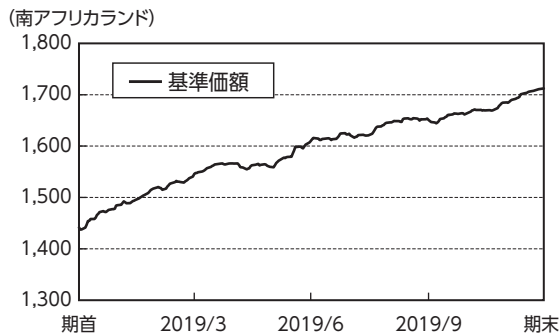
「基準価額の推移」は（IH3シェアクラス、豪ドル）」および（IH7シェアクラス、南アフリカランド）の内容ですが、他の開示情報につきましては、他のシェアクラスを含むファンド全体の内容を掲載しております。

基準価額の推移

（IH3シェアクラス、豪ドル）



（IH7シェアクラス、南アフリカランド）



(注) 基準価額は、収益分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

組入上位10銘柄

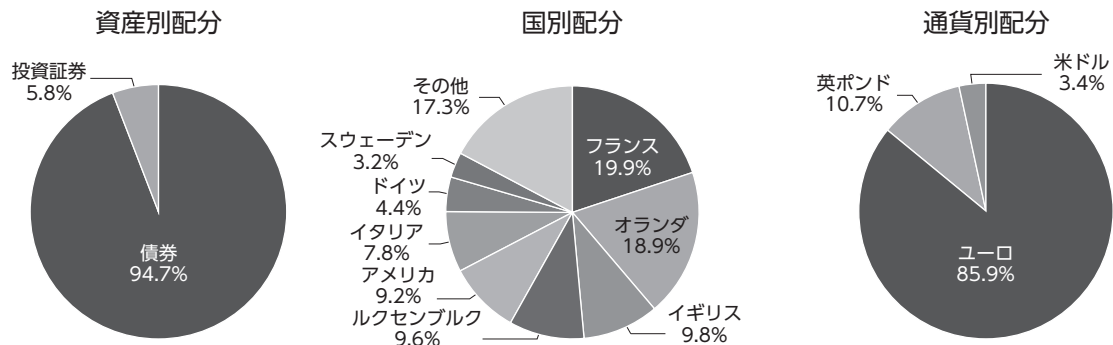
2019年12月31日現在
(組入銘柄数：315銘柄)

	銘柄	通貨	発行国	比率
1	AMUNDI 3 M I (C)	ユーロ	フランス	3.2%
2	AMUNDI TRESO CT C 3D -C- CAP 3 DEC	ユーロ	フランス	2.6%
3	ALTICE LUXEMBOURG SA 8.00 19-27 15/05S	ユーロ	ルクセンブルク	1.1%
4	TELEFONICA EURO FL.R 19	ユーロ	オランダ	1.1%
5	TIM SPA 4.0 19-24 11/04A	ユーロ	イタリア	1.0%
6	TELECOM ITALIA SPA 5.875 07-23 19/05A	英ポンド	イタリア	0.9%
7	REPSOL INTL FINANCE FL.R 15-75 25/03A	ユーロ	オランダ	0.9%
8	ENERGIAS DE POR FL.R 19-79 30/04A	ユーロ	ポルトガル	0.9%
9	VERISURE MIDHOLDING 5.75 17-23 01/12S	ユーロ	スウェーデン	0.8%
10	NETFLIX INC 3.625 17-27 05/02S	ユーロ	アメリカ	0.8%

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されております。

種別構成



- (注1) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。
(注2) 国別配分および通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。
(注3) 直接投資しているのはファンド（受益権）ですが、その先の投資資産を表示しております。
(注4) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入しております。

1万口当たりの費用明細

該当情報の取得ができないため、掲載はしておりません。

組入ファンドの概要

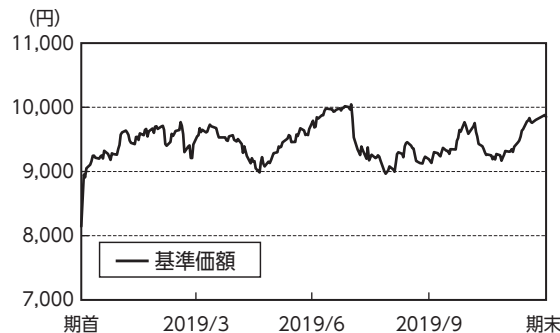
<ストラクチャ-欧州ハイ・イールド・ボンド-ブラジルリアル>

決算日：2019年12月31日

(計算期間：2019年1月1日～2019年12月31日)

基準価額の推移(ブラジルリアル(14シェアクラス、円)) 組入上位10銘柄

2019年12月31日現在
(組入銘柄数：302銘柄)



(注) 基準価額は、収益分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

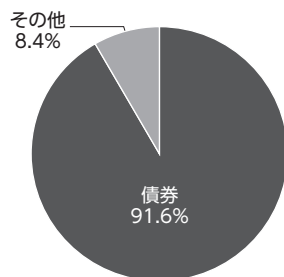
	銘柄	通貨	発行国	比率
1	ALTICE LUXEMBOURG SA 8.00 19-27 15/05S	ユーロ	ルクセンブルク	1.0%
2	TELECOM ITALIA SPA 5.875 07-23 19/05A	英ポンド	イタリア	1.0%
3	TELEFONICA EURO FL.R 19	ユーロ	オランダ	1.0%
4	VRX ESCROW 4.50 15-23 15/05S	ユーロ	カナダ	1.0%
5	ENERGIAS DE POR FL.R 19-79 30/04A	ユーロ	ポルトガル	0.9%
6	REPSOL INTL FINANCE FL.R 15-75 25/03A	ユーロ	オランダ	0.9%
7	TIM SPA 4.0 19-24 11/04A	ユーロ	イタリア	0.8%
8	INTESA SAN PAOLO 6.625 13-23 13/09A	ユーロ	イタリア	0.8%
9	NETFLIX INC 3.625 17-27 05/02S	ユーロ	アメリカ	0.7%
10	VERISURE MIDHOLDING 5.75 17-23 01/12S	ユーロ	スウェーデン	0.7%

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

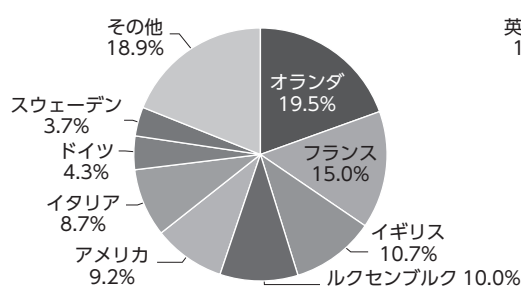
(注2) 全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されております。

種別構成

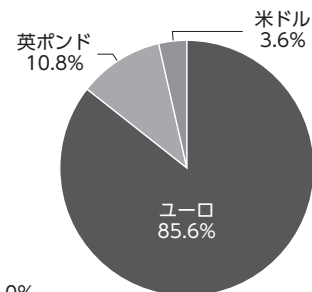
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分および通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注3) 直接投資しているのはファンド(受益権)ですが、その先の投資資産を表示しております。

(注4) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入しております。

1万口当たりの費用明細

該当情報の取得ができないため、掲載はしていません。

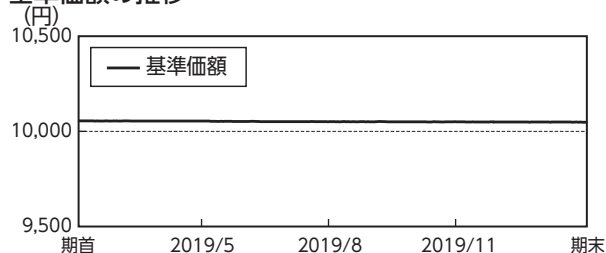
組入ファンドの概要

<CAマネープールファンド(適格機関投資家専用)>

第13期 決算日：2020年2月17日

(計算期間：2019年2月16日～2020年2月17日)

基準価額の推移



組入銘柄

2020年2月17日現在
(組入銘柄数：3銘柄)

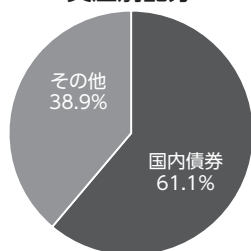
	銘柄	種別	比率
1	平成 22 年度第 1 回北海道公募公債	地方債	25.4%
2	第 174 回神奈川県公募公債	地方債	22.9%
3	平成 22 年度第 1 回広島市公募公債	地方債	12.8%

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

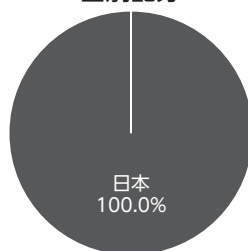
(注2) 銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されております。

種別構成

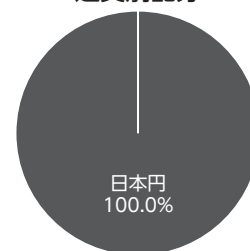
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分および通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注3) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入しております。

1万口当たりの費用明細

項 目	第13期 (2019年2月16日 ～2020年2月17日)		項 目 の 概 要
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	1円 (1) (0) (0)	0.011% (0.009) (0.001) (0.002)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、□座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用 (その他)	0 (0)	0.004 (0.004)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	1	0.015	

期中の平均基準価額は10,051円です。

(注1) 費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

指数に関して

○「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

• 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) とは、東京証券取引所第一部に上場している全銘柄を対象として算出した指数で、TOPIXの指数値およびTOPIXの商標は東京証券取引所の知的財産であり、同指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利およびTOPIXの商標に関するすべての権利は、東京証券取引所が有します。東京証券取引所は、TOPIXの指数値の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの指数値の算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有します。

• MSCIコクサイ・インデックス (税引後配当込み、円ベース)

MSCIコクサイ・インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有します。

• MSCIエマージング・マーケット・インデックス (税引後配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有します。

• NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債とは、野村證券株式会社が公表する、国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。同指数の知的財産権とその他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。

• FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) とは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

• JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド (円ベース)

JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイドとは、J.P.Morgan Securities LLCが算出し公表している、現地通貨建のエマージング・マーケット債で構成されている指数です。同指数の著作権はJ.P.Morgan Securities LLCに帰属します。

Amundi
ASSET MANAGEMENT
アムンディ アセットマネジメント